

警戒



悪質極まりない列車妨害発生！

留置車両の乗務員室がこじ開けられ

## 防護無線が発報される！

2019年3月13日  
毎日新聞夕刊(大阪版)

J R 東海道線で  
防護無線誤作動  
9万5000人影響  
13日午前2時15分こ  
ろ、京都府大山崎町の  
J R 東海道線(京都線)

山崎～長岡京間で、姫路発京都行き新快速電車の車両機器にトラブルが発生し、東海道線の高槻～米原間などで始発から運転を見合わせた。午前6時半すぎに運行を始めたが、遅れや遅れが相次ぎ、約9万5000人に影響した。

J R 西日本によると、緊急時に周囲の列車を止めるための防護無線が作動したため、長岡京駅で乗客を降ろしたが、その後も停止しなかった。近くの車庫にあった車両から電波が発信されたのが原因とみられ、詳しい経緯を調べている。

東海道線や片町線などで計107本が遅れや部分遅れし、最大で2時間48分の遅れが出た。新快速は12日夜、山陽線の土山～魚住間の踏切で起きた人身事故の影響により、約1時間20分遅れて運行していた。

日時 2019年3月13日(水)  
2時13分頃

場所 J R 西日本 京都線  
(東海道本線)

山崎～長岡京 駅間

事象 人身事故で遅れていた新快速電車が防護無線機の不具合を認め緊急停車。途中の駅で運転を取りやめた。

調査した結果、向日市にあるJ R 西日本吹田総合車両所京都支社に留置されていた車両の乗務員室がこじ開けられ、何ものかによって防護無線が押されていた事象が発生。

JR総連は、悪質極まりない列車妨害を許さず、組合員と乗客の命と安全を守るために単組と連携し、警戒体制を強化していきます。

些細なことでも「報・連・相」を！